

校訓：人のお世話にならぬよう、人のお世話をするよう、そして報いを求めぬよう

学校教育目標：自ら学び、心豊かにたくましく生きる七塚っ子の育成



# 薫陶

学校だより くんとう

2月号 令和6年1月26日

七塚小学校長 稲垣 優子



七塚小HP QRコード



## 寒い日が続きますが、七塚っ子の春は、もうそこまで来ています

1月27日(土)の新型コロナウイルス等感染拡大防止のための授業参観中止、休業日変更については、ご理解とご協力をいただき本当にありがとうございました。授業参観を楽しみにしていた児童・保護者の皆様、とりわけ小学校最後の授業参観となる6年生の児童・保護者の皆様には大変申し訳ございませんでした。学年によっては内容を今後オンライン等でお伝えしたいと考えています。何とぞ苦渋の選択をご理解ください。第10波ともいわれるコロナ感染拡大、また軽症にもかかわらず再び返しての肺炎等が懸念される型とも言われかなり心配いたしました。少しずつ収まりつつありほっと胸をなでおろしております。今後もインフルエンザ等の流行も考えられますが、何とか送る会や卒業式が滞りなく行われますように、ご家庭でも手洗いやうがいなどの感染防止にご協力をお願いいたします。



朝のあいさつ運動の様子

さて昔から「1月は往ぬ、2月は逃げる、3月は去る」と言われるように、今年度も残り2か月、40日を切りました。新しい学年になるための学習のしあげをできる限り行い、積み残しのないように学年を締めくくりたいと思います。5年生を中心とした「6年生を送る会」の準備も始まったところです。2月22日には、ぜひ成長した子どもたちの姿をご覧いただきたいと思います。そのためにもお子様の体調の変化等にご注意いただき、ご家庭での規則正しい生活等のご配慮をお願いいたします。



## 気もちのよいあいさつとは



毎朝校門に立っていると、本当にこちらまで嬉しくなる挨拶をしてくれる七塚っ子がたくさんいます。そんな子たちには、つい「元気な声だね」「会釈がステキ!!」などと声をかけたくなくなってしまいます。校門前の横断歩道では、止まってくれた車に向かって「ぺこり」と会釈して渡る子供たちが多くなりました。車で送ってくださっているお家の方の中にも、運転席から会釈してくれる方が多くいます。また毎朝校門前を通る通勤途中の車の方でさえ、私の方を見て会釈をしてくださいます。そんなあいさつを交わすにつけ、嬉しい気持ちやがどどん心にとまっています。どれだけ寒くても心がほっこり温かくなります。



さて話は変わりますが、1月19日から大相撲初場所が始まりました。津幡町出身のの大の里関や欧勝海関はご存じだと思いますが、魁勝関というお相撲さんをご存じですか。このお相撲さんか今、礼儀正しいとSNSで称賛を浴びているのです。勝っても負けても、花道を引き揚げる際に、振り返って深々と土俵に向かってお辞儀をする姿が素晴らしいのです。両手を太ももの両側にきちんと揃え、腰を90度近く折り曲げて深く頭を下げるのです。よく見ている方によると、勝った後も相手にお尻を向けないで後ずさって自分の位置に戻るのだそうです。これはきっと、魁勝が小さい頃からずっと身に付けてきたからできることなのでしょうね。

「学ぶ」の語源は「まね」「まねぶ」と言われています。赤ちゃんが親の言葉をオウム返しで繰り返し覚えていくように、七塚小学校ではまず私たち大人の教師が子供の前でしっかりとあいさつする姿を見せていこうと声を話し合っています。ご家庭でも「行ってらっしゃい」と元気に送り出してあげてくださいね。

